

これからの

大山町の教育にむけて

大山町総合教育会議

第1回大山町総合教育会議が、7月30日に名和公民館で開かれました。

この会議は、昨年の6月に一部改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、町長と教育委員会という対等な執行機関同士の協議及び調整の場を設ける

ことで、相互の連携を図りながら、より一層民意を反映した教育施策を推進していくために開催するものです。

当日は、まず5名の教育委員が現在の町の教育についてそれぞれの考えを述べた上で町長と意見交換をしました。その後、事務局から提案の

あった町の教育等に関する「大綱」について協議を行いました。

今回の会議で、「大山の恵みを受けて生き生き輝く人づくり」を教育理念として今後の大山町の教育を推進していこうとする考え方を双方で確認しました。



▶総合教育会議の様子

鳥取県 スポーツ推進委員協議会 功労者表彰

6月27日に行われた鳥取県スポーツ推進委員研究大会で、大山町から5名の方が功労者表彰を受賞されました。

功労者表彰は、10年以上スポーツ推進委員として活躍された方に贈られます。表彰を受けられたのは、次の方々です。

さん
義子 幸教也
敦京 一和 哲
見本 田橋 田
高阪 権高 前

おいしいブドウになあれ

中山みどりの森保育園

梨に袋がかけられ、梨畑が少し賑やかになったころ、天島恵一さん（高橋）のご厚意で、園児がブドウの袋かけ体験をさせてもらうようになりました。今年で3年目になります。

今年度は保育園から高橋集落までの道のりを途中中山陰道を通る車に手を振ったり、お米づくりでお世話になっていいる高橋清巳さん（上市）の牛舎や畑を見たりしながら、歩きました。

天島さんの大きなハウスでは、数種類のブドウの木が幅広く枝を張り、葉が繁り、見事なブドウがたくさんぶら下がっていました。子どもたちは箱の上に乗って、真剣な眼差しで一枚一枚丁寧に袋をかけました。袋は、前もって子どもたちが絵を描いており、子どもたちの絵が加わったことで、一段と賑やかなブドウ畑になりました。

袋かけの後は、天島さんや高橋さんの畑でとれたスイートコーン、スイカをみんなでいただき、スイカの種飛ばしゲームや梨転がしボールングをして遊びました。また、ブドウ畑周辺の草花や動物を見つめるスタンプリングを楽しみ、子どもたちは自然の中を思う存分駆け回りました。

中山みどりの森保育園では、子どもたちがさまざまな体験をすることができるよう、豊かな自然を活かした保育を展開しています。そして園の目標の一つである地域とのつながりを大切にし、より充実した保育を目指していきたいと思えます。



▲天島さんといっしょに袋かけ！